

「第3回京都大学ライフサイエンスショーケース@ San Diego 2022 (Online)」開催報告書

京都大学大学院医学研究科

1. イベント概要

項目	概要
イベント名	「第3回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2022(オンライン)」
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・京大を始めとする国内アカデミア発の医療領域のイノベーションの海外展開の支援 ・アカデミア発スタートアップが米国での起業・製品開発を学ぶ教育機会の提供 ・京大サンディエゴ研究拠点をハブとする UCSD との連携の強化と関係の発展
日程	2021年3月2日(水)午前7時00分～午前10時30分(日本時間)
開催場所	オンライン(Zoom Webinar)
プログラム概要	<p>JST 7:00 (PST 14:00/EST 17:00) 開会挨拶</p> <p>JST 7:05 (PST 14:05/EST 17:05) ①ショーケース ピッチ発表(16チーム×各8分)</p> <p>②コメンテーター講評</p> <p>③アワードの発表・授賞式</p> <p>JST 10:30(PST 17:30/EST 20:30) 閉会</p>
対象技術領域	免疫・感染症、低分子医薬品、再生医療、医療機器等の領域における将来の製品化に向けて研究開発中の先端的医療技術・シーズ
発表者	<p>14 チーム:日本国内のアカデミア発スタートアップ企業で、研究開発中の医療シーズ・技術を米国にて事業化する計画を持つチームの中から主催・共催機関で設置した審査会議での協議を経て採択。</p> <p>2 チーム:米国からの招待参加。</p>
運営体制	<p>【主催】</p> <p>京都大学大学院医学研究科 京都大学サンディエゴ研究施設(KURC-SD) 京都大学医学部附属病院先端医療研究開発機構(iACT) 京都大学「医学領域」産学連携推進機構(KUMBL)</p> <p>【共催】</p> <p>ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J) 神戸医療産業都市推進機構(FBRI) 日本貿易振興機構(JETRO)</p> <p>【協力】日本医療研究開発機構(AMED)</p> <p>【後援】UC San Diego School of Medicine、UC San Diego Moore Cancer Center、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、AIFAM アセットマネジメント株式会社、株式会社 TLO 京都、京都大学イノベーションキャピタル(株)、京大オリジナル株式会社、Japan Forum for Innovation and Technology (JFIT) at UCSD、Science and Innovation for the Next Generation (SING)、KYOTO-SPARK、Biocom California</p>

2. イベント実施報告

【背景及び目的】

京都大学大学院医学研究科では、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)構内に設置した京都大学サンディエゴ研究施設にて、本学で研究開発中の医療領域の先端的なシーズ・技術等をサンディエゴ近郊の投資家(個人投資家・VC 企業)や製薬企業等に紹介し資金調達や提携の機会を協議するマッチングイベント「Kyoto University Life Science Showcase @ UCSD 2020 (KULS2020)」を、2020年2月27～28日に開催し、多くの参加者を得て盛会となりました。第1回イベントの直後から新型コロナウイルスが流行し始めたこともあり、第2回イベント「第2回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2021」は神戸医療産業都市推進機構(FBRI)及び日本貿易振興機構(JETRO)始め多くの後援団体から応援をいただき、2021年3月3日にオンライン(Remo)にて開催することができました。京都大学発ベンチャー5社を含む日本全国から18社のアカデミア発ベンチャーが登壇し、発表後は活発なネットワーキングが行われました。第2回イベントの成果としては、登壇企業の1社が米国企業とのライセンス契約を結び、サンディエゴに現地法人を設立しています。さらに、発表チームのうち複数社が聴講参加した製薬企業関係者やUCSD関係者との共同研究構築に至るなど、一定の成果に繋がりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、アカデミア発の医療領域のイノベーションの事業化・海外展開を支援することは本学としても引き続き重要な戦略課題のひとつであると考えられること、また米国の投資家や産業セクターには情報伝達や協議の機会が継続的に必要であること等から、昨年度の活動をさらに発展すべく、今年度も第3回イベントとして「第3回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2021」を企画し、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)、FBRI及びJETRO 京都を始め第2回を上回る多くの後援団体の応援をいただき、2022年3月2日(日本時間)にオンラインにて開催いたしました。

(イベント Web サイト: <https://sites.google.com/kuhp.kyoto-u.ac.jp/kuls2022/>)

The banner for the 3rd Kyoto University LifeScience Showcase @ San Diego 2022 event. It features the event title, dates (March 1, 2022 2-5:30pm PST and March 2, 2022 7-10:30am JST), and the fact that it is held via ZOOM. A quote from the event states: "Start-ups stemming from academia who have state-of-the-art innovations with solid science and technologies will participate the event, and present their novel technologies and seeds in the life science fields including pharmaceuticals, regenerative medicine, medical devices, and diagnostics. Participants who are interested in investing on medical area innovations will be welcomed." The registration fee is free, and contact information is provided as info@kurcsd.com. The banner also displays logos of various partner organizations, including Kyoto University, ON-LIFE Laboratory, IACT, KUMBL, LINK-J, FBRI, JETRO, UC San Diego School of Medicine, UC San Diego Moores Cancer Center, JST, AFAM, TLO-KYOTO, KYOTO-iCAP, 京大キリジナル株式会社, JFIT, SING, KYOTO-SPARK, and Biocom California.

【今回の特徴・コンセプト】

第3回イベントでは、イベントとしての認知度をあげ将来に向け持続的に成長される目標も掲げ、日本国内のスタートアップ企業のみこだわりのではなく、海外のアカデミア発スタートアップ企業が発表する機会としても活用していただくこととしました。またイベント全体のテーマ公募期間を設け、本学発ベンチャー5社と米国からの招待参加の2社を含む16社のアカデミア発ベンチャーに発表していただきました。登壇企業にはプレゼンテーションのブラッシュアップを目的とし、JETRO 京都の支援のもと、JETRO Global Acceleration Hub を活用したメンタリングを事前受講していただきました。

また、コロナ禍による行動制限から、今年度も昨年度に引き続きオンラインでのイベントとなりましたので、Zoom Webinar を用いて開催しました(右は開会式の様子)。



【イベント参加者】

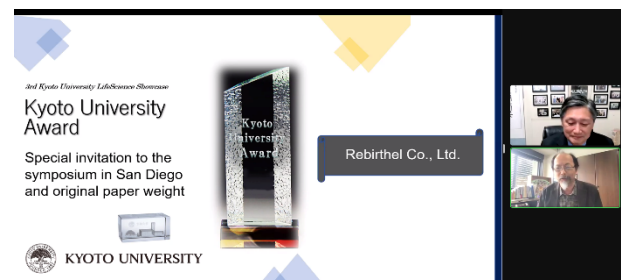
第3回イベントには米国ならびに日本の個人投資家・投資企業・製薬/バイオ/医療機器等企業から408名の事前登録をいただき、当日はそのうち294名もの方々にご参加いただきました。国別では、日本からは219名、海外からは75名でした。セクター別では、投資家が33名、製薬/医療機器/バイオテック系企業が77名、ベンチャー企業から33名、との分布となりました。

セクター別

Investor / Angel	10
VC company	23
Pharmaceutical / Biotech	77
Consultant	21
Patent Office / Law firm	2
Media	2
Startup / Venture	33
Researcher	39
Supporting Organization	32
Others	55

【プログラム及びイベントの様子】

全体司会は、在サンディエゴの投資家である清泉貴志氏にお願いしました。また、各セッションでは米国で産学連携支援やベンチャー起業支援に携わる有識者にコメンテーターとして参画いただき、発表に対する講評をお願いしました。主催を代表して京都大学医学研究科・萩原教授が開会挨拶を述べ、UCSD 医学部薬理学科長の Silvio Gutkind 教授より来賓挨拶をいただきました。技術カテゴリー毎に分類した4つのセッションでは、それぞれ4チームが8分ずつのピッチ発表を行いました。コメンテーターからは各発表に対して有意義なコメントをいただきました(右は発表チームの質疑対応時の様子)。発表終了後にはコメンテーターによる各セッションにおいて最も優れたプレゼンテーションの選出があり、選出された企業には主催・共催団体から盾と副賞が授与されました。また、ショーケースイベント全体を通して最も優れた発表を参加者に投票していただき、主催からオーディエンス賞を授与しました(右は授賞式



の様子)。

各賞の受賞企業

“Kyoto University Award”	Rebirthel Co., Ltd.
“LINK-J Award”	R-NanoBio Co. Ltd.
“FBRI Award”	Takaha Pharma Co. Ltd.
“JETRO Kyoto Startup Capital Kyoto Award”	PuREC Co., Ltd.
“Audience Award”	AquaTeX Medical

プログラム

Opening Remarks

7:00 AM 開会の辞 Prof. Masatoshi Hagiwara, Vice Provost, Kyoto University

Session 1: “Immunology and infectious diseases” sponsored by Kyoto University

7:06 AM 1-1 KinoPharma Inc.

7:16 AM 1-2 CarbGeM Inc.

7:26 AM 1-3 Rebirthel Co., Ltd.

7:36 AM 1-4 SUDx-Biotec Corporation

Session 2: “Medical devices” sponsored by LINK-J

7:51 AM 2-1 Lilac pharma Inc.

8:01 AM 2-2 R-NanoBio Co. Ltd.

8:11 AM 2-3 Triple W

8:21 AM 2-4 AquaTeX Medical

Session 3: “Small molecules and oligonucleotides” sponsored by FBRI

8:36 AM 3-1 Takaha Pharma Co. Ltd.

8:46 AM 3-2 BTB Drug Development Research Center

8:56 AM 3-3 NATiAS Inc.

9:06 AM 3-4 Autoimmunity BioSolutions

Session 4: “Regenerative medicine” sponsored by JETRO

9:21 AM 4-1 PuREC Co., Ltd.

9:31 AM 4-2 CUORiPS Inc.

9:41 AM 4-3 HiLung Inc.

9:51 AM 4-4 Oligogen, Inc.

Congratulatory speech

10:00 AM 謝辞 Prof. Silvio Gutkind, Department of Pharmacology, UC San Diego

Award Ceremony

10:05 AM 各賞授賞式

Closing remarks

10:25 AM 閉会の辞 Prof. Masatoshi Hagiwara, Vice Provost, Kyoto University

【ネットワーキングとその後の成果】

イベント参加者及び 16 チームの発表者それぞれに対してアンケートを行いました。寄せられた意見・感想を参考に次年度以降の活動へと反映させてまいります。また、事務局のほうで発表者へのコンタクトを

希望する参加者のリストを作成し、各発表者へお配りしていますので、参加企業にそれぞれ交渉を進めていただくと同時に、事務局からも進行状況をフォローアップしていく予定です。

発表者のチームからは、「ネットワーキングの時間が欲しかった」「より多くの投資家・製薬企業等の参加者と協議したかった」といったご意見もありましたが、イベント直後から投資家等から投資や提携に向けた連絡が入り、次のアクションに向けた協議をスムーズに開始したチームもありました。

3. おわりに

国内外のアカデミア発ベンチャーから16のチームが集い、また、本イベントに賛同してくださった皆様からのあたたかいご協力もあり、300名近い一般参加者を迎えての第3回ショーケースイベントを成功させることができました。

日本のアカデミア発の医療シーズ・技術に高い関心が集まる今、本イベントを通じて本学をはじめとする日本のアカデミア由来先端技術の海外展開を加速させることは重要であり、そして京都大学サンディエゴ研究施設がその一助となれましたら幸いです。

来年度以降もアカデミア発スタートアップ企業の活動を後押しするイベントの開催を検討しております。これまでの3回のイベント開催により得た課題・反省も踏まえつつ、取り組みを改善・発展させることで、引き続き科学技術研究からのイノベーション創出に貢献できるよう努めてまいります。

以上